

第60回国民体育大会剣道競技結果

第2試合場			
確認	本部記録	戦評	記録
	宮本	矢部	米澤

18

(成年男子)

平成17年10月25日(火)		第27試合	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	3位決定戦	決勝戦	
主審	都道府県	順	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数	勝敗
小坂達明	鳥取	氏名	乗本	竹中	久住	門脇	岸田	5	8	
		試合	1 コ反相 2 ド則殺 3 回回	1 コ反相 2 コ則殺 3 回回	1 メ反相 2 則殺 3 1回回	1 ド反相 2 コ則殺 3 回回	1 コ反相 2 則殺 3 一本勝回回			
		経過	3 反相 2 則殺 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3 延長反相 2 則殺 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回			
副審	岐阜	氏名	脇本	樽本	近藤	篠田	鶴田	0	0	×
中山峯雄	茨木貴	経過	3 反相 2 則殺 1 回回							
時間	4分54秒	1分53秒	9分10秒	3分51秒	5分00秒					

戦評
1回戦、長野に大勝した鳥取と2回戦から登場した岐阜の一戦。先鋒戦、鳥取乗本は開始早々、鏢競り合いから絶妙なタイミングの引き小手を決める。一方、岐阜脇本は長身乗本に対して間を詰めて反撃するが有効打突とはならず、逆に鳥取乗本に攻め込まれ左胴を決められるスタートとなる。次鋒戦、鳥取竹中も先鋒と同様に開始早々、攻め込んでの小手と相手を上手く面に引き出しての出頭小手を決め主導権を握る。中堅戦は、挽回を図る岐阜近藤が積極的に攻めるが、鳥取久住は間を切りながら攻めをかわし応じ技をかける。延長戦となり数合後、鳥取久住はここがチャンスとばかりに間を詰め捨身の面を決める。勝負がついて楽になったのか、副将鳥取門脇、大将鳥取岸田ともに相手の動きを落ち着いて読みとり、副将門脇は面返し胴と小手、そして大将岸田は小手を決め相手に一本も与えることなく鳥取が完勝した。